

市営バスで貨客混載事業の実証実験を始めます。 ～ 路線バスを用いた「横浜野菜」などの輸送を行います。～



横浜市交通局では、一般社団法人スマートニッチ応援団（本部：横浜市金沢区、代表理事：吉田圭）、横浜農業協同組合（本店：横浜市旭区、代表理事組合長：柳下 健一）と共同して、「路線バスを用いた貨客混載事業」の実証実験を市営バス一部路線にて開始します。

本実証実験を通じて、自動車輸送の効率化による脱炭素の取組を推進するとともに、バス沿線企業をはじめとする地域社会への貢献を図ります。



横浜市交通局

×



Smart Niche Cheering Group

×



Yokohama

1 実験の概要

横浜農業協同組合の組合員農家が育てた「横浜野菜」を中心に路線バスを活用して輸送を行います。輸送した野菜は、そごう横浜店2階横「はまテラス」で開催される大学マルシェにて販売され、売上の一部は、一般社団法人スマートニッチ応援団が経営する子ども食堂の運営費にあてられます。

2 対象系統及び区間

市営バス 82 系統（日枝橋バス停→横浜駅西口バス停）

※他の系統での実施となる場合があります。

3 運行予定日

各月第2土曜日及び第4土曜日

※令和6年4月は13日及び27日に実施します。

※大学マルシェの実施状況により予告なく変更となる場合があります。



輸送の様子（バス車内）



大学マルシェの様子

お問合せ先

交通局自動車本部営業課長

鈴木 秀利 Tel 045-671-3141